

たのしい新田

新田中学校 だより
令和5年 12月1日



- ・確かな学力を身につけ、自ら学ぶ、あきらめずに挑戦する生徒を育みます。
- ・のびのびと主体的に行動し、人権を尊重する豊かな心の生徒を育みます。
- ・心身ともに、明るく健康に生きる生徒を育みます。
- ・意欲的に社会貢献する、公共心の高い生徒を育みます。
- ・新しい時代に生きる、グローバルな視野の広い生徒を育みます。

校長 宮崎 智洋 〒223-0058 横浜市港北区新吉田東五丁目25番1号
HP : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nitta/>

交通安全協会～スケアードストレイト～

校長 宮崎 智洋

爽やかな秋晴れの中、港北区地域振興課・港北警察署交通課・県警本部交通捜査課・オフィスワイルド（スタントマン）の皆様をお招きし、本校グラウンドで全校生徒約790名が参加するスケアードストレイト方式による交通安全教室が実施されました。

🎪🎪🎪 スケアードストレイト 🎪🎪🎪

プロのスタントマンが交通事故をリアルに再現することで、事故の怖さを体感させ、無謀運転の危険性や交通ルールを守ることの大切さを体感させる交通安全教育

○実施内容○

- ・時速40kmでの衝突実験
- ・ブレーキテスト
- ・見通しの悪い交差点での事故（人×自転車、自転車×自転車、車×自転車）
- ・悪乗り（手放し、携帯、ヘッドホン、並走、二人乗り、逆走、斜め横断）
- ・横断歩道での事故
- ・傘さし運転
- ・普通自動車の死角
- ・トラックの死角
- ・トラックの巻き込み、内輪差の説明
- ・サンキュー事故

スタントマンが次々と演じるリアルな交通事故現場の再現を見て、日常生活の中に潜んでいる事故の危険性を学びました。特に自転車の事故については、普段から自転車を利用している生徒も多く、真剣なまなざしで安全運転の大切さを確認していました。



本校の学区は、交通量が多いうえに道幅が狭く、歩道が無い道路もあります。自らの大切な命を守ることはもちろんのこと、中学生が模範となり、交通ルールをしっかりと守ることで、交通事故の無い安心して生活できる未来の街づくりを担っていくことを願っています。

～12月の行事予定～

日	曜	主な内容	昼	日	曜	主な内容	昼
1	金	▲45分授業 3年進路面談 いじめ防止市民フォーラム代表生徒参加(市庁舎アトリウム)	○	15	金	▲45分授業【3年 12:25 下校】	12年○ 3年×
2	土			16	土		
3	日			17	日		
4	月	▲45分授業 3年進路面談	○	18	月		○
5	火	▲45分授業 3年進路面談 授業参観(12年・個別)懇談会(1年) 進路・修学旅行説明会(2年)	○	19	火		○
6	水	▲45分授業 3年進路面談	○	20	水		○
7	木	▲45分授業 3年進路面談	○	21	木	大掃除	○
8	金		○	22	金	▲45分授業【12:25 一斉下校】	×
9	土			23	土		
10	日			24	日		
11	月	▲45分授業【14:20 一斉下校】	○	25	月	文化祭・新田フェスティバル代休	
12	火		○	26	火	冬季休業～1月8日	
13	水	【13:25 一斉下校】 研究授業 2年 4・7組 3年 6組 ⇒14:25 下校	○	…		学校閉庁日 12月28日～1月4日	
14	木		○	1月			
				9	火	▲45分授業 教育相談	○
				10	水	▲45分授業 教育相談	○
				11	木	▲45分授業 教育相談	○
				12	金		○

【1月の主な予定】

12月26日～1月8日 冬季休業

9日～12日 教育相談週間

19日(金) 職業講話(1年)

25日(木) 個別支援学級合同同学芸会

*** 地域防災拠点運営訓練がおこなわれました ***

11月26日に、本校を地域防災拠点とする、新吉田あすなろ地区の防災拠点運営訓練が実施されました。今回の訓練では、新田中学校に避難所を開設するまでの確認作業がおこなわれました。

開設するためには、「【受付】避難者の把握や情報提供、健康管理」、「【機材の準備】仮設トイレや仕切りテント等の設置」、今回は工事のため実施できませんでしたが「【災害時給水所立上】災害用地下給水タンクへ手動ポンプ式水道の設置」、「【炊出】ガスボンベや大釜の設置・食料の確保」など、様々な準備が必要となります。

災害用備蓄品も、以前と比べ多種多様で便利なものが増えました。その分、日頃の訓練で確認すべき知識や技術も増えていると感じました。その為、実際に震災が発生した場合に、被災者支援の中心となり、活躍を期待されているのが中学生です。避難所となる学校の構造や地域の地理を熟知していて、身軽で力もあり、新しいものに直ぐに対応できる中学生だからこそ、被災した地域のためにできることがあると思います。

